

北 子 委 収 第 1 号
令和7年12月5日

北本市長 三 宮 幸 雄 様

北本市子どもの権利委員会
委員長 森 田 満理子

子どもの権利に関する施策の実施状況について（答申）

令和7年10月10日付け北こ子発第178号で諮問を受けた北本市子どもの権利に関する施策の実施状況について、当委員会において慎重に審議した結果、次のとおり答申します。

答 申

当委員会は、市長から諮問された北本市子どもの権利に関する施策の実施状況について、その報告書を慎重に審議した結果、おおむね順調に進捗しているものと評価する。

なお、今後も、計画の推進にあたっては、子どもの権利を尊重し、子どもの年齢、性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず、全ての子どもが幸せな生活を送ることができる社会の実現に向け、別紙の当委員会の意見に十分配慮され、引き続き計画の推進に努められたい。

意 見

1 子どもの権利に関する普及啓発について

子どもの権利について、子どもや家庭、子ども関係施設の職員、地域の方たちが、正しく理解するとともに、子どもがその権利を適切に行使し、その権利が侵害された場合には、速やかに相談等することができるよう、引き続き、子どもの権利に関する普及啓発に、積極的に取り組む必要がある。

とりわけ、学校を通じた子どもに対する周知に当たっては、子どもが子どもの権利及び子どもの権利に関する条例についてより正しく理解するために、教職員等がその意義や背景について正しく理解したうえで子どもに周知することができるよう配慮し、普及啓発に努められたい。

2 子どもの意見表明の機会の確保について

こども基本法においては、年齢や発達の程度に応じたこどもの意見表明機会の確保・こどもの意見の尊重が基本理念として掲げられるとともに、こども施策の策定等に当たって子どもの意見の反映に係る措置を講ずることが国や地方公共団体に義務付けられている。

子どもが、安心して自由に意見を表することができるよう、「子ども会議」という枠にとどまらず、さまざまな手法を探りながら、子どもの意見表明の機会の確保及び環境整備に着実に取り組まれたい。